

第1回 学生FD勉強会（議事要旨）

日時場所：平成31年2月12日 12:15～ 中央研究棟2階 第2会議室

テーマ：三つのポリシーについて

出席者

学生： (A) (B) (C) (D) (E) (F)

教員： 科長 青木（司会進行） 教務委員長 小栗 学生委員長 藤村
就職委員長 長澤

書記： FSDS 委員長 西田

導入.

勉強会のはじめに、青木科長より、三つのポリシーとアセスメントポリシー、自己評価のためのルーブリックを次年度から導入して行く事の説明を行った。また、卒業時アンケートの中間報告を交えて、参加学生に2年間の学生生活や学びについてふり返ってもらった。

議題1. 2年間で「ディプロマ・ポリシー」に示された能力は身につきましたか？

- A：身に付いたと思う。入学当時に比べると様々な面で向上していると思う。専門分野については、子育てをしても気づかない事があった。
- B：特に他者との協働性が身に付いた。グループで学ぶ事が多かったのだ。
- C：教科や行事を通して、全体的に身につけていると思う。
- D：授業では保育技術や表現力などがついたと思う。実習では、自主性が育った。
- E：学校内だけでは無く、学外の先生方やわいわいひろばの保護者の方から学ぶ事が多かった。（授業だけではなく）行事からも学ぶ事が多かった。
- F：短大で学んだ事を実習でさらに深く学ぶ事ができた。実習の時には実習先の先生から日誌の指導を受けるなどした。学校の学びと実習とをつなげて学べた。またボランティア活動にも打ち込む事ができた。

議題2. 三つのポリシーを意識して学習しましたか？

- A：正直、あまり意識しなかった。
- B：読んでなかった。
- C：意識していない。履修要項やシラバスは、学期の初めとテストの前しか見なかった。

- D：シラバス授業の初めに見ていない。
- E：正直いうと意識していなかったが、先生は意識しているので、言われてみれば身につけているように感じる。
- F：意識していなかった。

議題3. 学習成果を可視化して自覚するために、「自己評価のためのループリック」を作成して、平成31年度から導入します。また、教職履修カルテが、「学習ポートフォリオ」にバージョンアップします。アドバイスをお願いします。

- A：山本先生の授業で課題の評価が具体的に示されていた。教員の評価を知りたいと思った。評価を出してもらおうと頑張る事ができる。自分なりに評価する事も役立ちそう。
- B：作業が面倒くさそう。文章ではなく数字で単純なものがいい。
- C：正直な自分の能力を評価するのは、難しい。作成時には昨年との比較をできないようにしてほしい。スマホは使いたくない。紙が良い。WiFiの環境が悪い。
- D：目標について、選択肢の文章にピッタリ合わないような気がする。ディプロマ・ポリシーを普段から意識していない。
- E：「目標以上」に書いてある内容は、保育者として実際に働く中で身に付けられるものだと思う。在学中に「目標以上」に到達できる人はいないと思う。
- F：小項目は自分で設定したい。自分の目標とのズレが生じるような気がする。自分自身で目標を立てられる部分があっても良いように思う。

その他. 2年間の感想

- A：作短に入学して良かったと思う。子育てひとり親という中で、人生が変わったように思う。勉強から15年ほど離れていた。30歳後半で、ある程度分かっていると思っていたが、学んでみて専門的な知識に触れる中で、自分の知らない事を知った。
- B：作短の2年間は充実していたと思う。就職関係の情報をもっと早く与えてもらいたかった。
- C：進路について、保育だけという縛りが強かった。保育者をめざす学生にしか考えられない課題があった。色々な道を考えて課題があっても良いのではないか。
行事がたくさんあったので、他の短大に進んだ友達うらやましがられた。行事を通して多くのことを学べたし、一人一人が活躍する場があった。
- D：授業に関して自由度が少なかったなので、授業の方は単位を落とさないように過ごしている事が多かった。これを学びたいからこの授業を取るというのが無かった。行事は、自分たちで色々考えて行く事ができた。行事によって団結力も高まった。
- E：学生生活をもう一度繰り返したいくらいしかった。実習先を決める時に、もっと就職の

事などを考えて選択していればよかったと思った。

学んだ事をふり返りを友達と共有する時間がなかった。実習の振り返りができればよかった（実習反省会？）。

F：担任会（縦割り）で先輩と関わる機会が多かった事が良かった。先輩とのつながりの中で、色々な事を知った。授業や行事は保育者になるために役立つと思った。施設実習の時に、実習先がなかなか決まらなかった。できるだけ自分の学びたい所（施設）に行けるようにしてほしい。

A；実習の振り返りは大切。実習中には不安があって全部を現場の先生に聞く事はできない。学びながら先生に相談したり、友だちと情報交換をしながら学ぶ機会がもっと増えれば良い。

C：作新祭の係の決め方に問題がある。第1志望ではなく、余った人に担当が回って来る。作新祭の運営の段取りが悪い。作新祭の備品は空いた部屋にまとめてほしい。

親が学校行事を見る事ができる機会にしてほしい。学外オリの出し物のようなものを親に見てもらいたい。学外オリのアトラクションを撮った映像の上映やその時の衣装を着てカフェをやるなど工夫があったらよかった。作新祭を、みんなで楽しめる行事に改善して行ってほしい。

T 短大には幼教フェスというイベントがある。親も自分の子が何をやっているか見たいと思う。学費をだしてくれた親に楽しくやっている所をもってもらいたい。

以上